

広島大学大学院
放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム

平成 27 年度第 6 回フェニックスプログラムセミナー/
(第 51 回たおやかプログラムセミナー共催) を開催しました

当プログラムでは学生が専門分野に加えて幅広い知識を習得するため、「分野融合セミナー」として学生がさまざまな研修に参加できる機会を提供しています。この一環として、広島大学大学院国際協力研究科と協定校の The LBJ School of Public Affairs テキサス大学オースティン校より支援を受け、7 月 6 日から 8 月 5 日までの夏期研修 (2015 Public Management and Leadership Program および 2015 Politics and Policy Program) に、たおやかプログラムの教職員とともに当プログラム所属学生が 1 名参加し、広島大学より合計 4 名が参加しました。研修内容はテキサス州のテキサス大学オースティン校およびワシントン DC で講義、州政府や連邦政府機関への訪問、公的機関への訪問等を含む 4 週間半にわたるものでした。

また、10 月 26 日にフェニックスプログラムとたおやかプログラムが共催した今回のセミナーでは、研修参加者の一人である Dr. Luni Piya による講義 **Macro-Leadership: Creating Organizational Future and Culture** に続き、3 名の同じく研修参加者 (学生 2 名と職員 1 名) がそれぞれ学んだ内容を報告し、研修の成果をプログラム所属学生と共有しました。

当日は広島市と東広島市のキャンパスをテレビ会議システムで結び、フェニックスプログラム所属学生 8 名、たおやかプログラム 14 名、その他学生 8 名、教職員 10 名の計 40 名が参加しました。セミナー参加者からは大変興味深い内容で、また機会があれば自分もぜひ参加したいとの感想が寄せられました。



(左) 東広島キャンパスのセミナー風景



(右) テレビ会議を通じて霞キャンパスからも講義を受講